

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者

三谷、宮島、三浦

2. 山城／ルート

湖北・石田川・八王子谷～一の谷（左俣）

3. 交通手段

車

4. 行動記録

<入山日 2014年7月21日、下山日 同左>

■2014年7月20日（日）雨のち曇り

神戸三ノ宮発 14:20---尼崎（買い物）---湖西道路---石田川ダムテント設営 18:30---夕食---就寝 20:30

■2014年7月21日（月・祝）晴れ

起床 5:00---石田川ダム 6:20 発---（林道土砂崩れ）---八王子谷（橋）出合入溪 8:20---3mの滝 8:30---382m p の二俣（八王子出合） 9:10---奥の二俣 10:30---855mのピーク 14:20---高島トレイル---水谷分岐 15:20---わさ谷分岐 16:10---尾根道---三重・武奈登山口（わさ谷橋） 17:10---石田川ダム 17:20---朽木温泉「てんくう」 18:50~19:40---湖西道路---名神（桂川 SA 夕食）---尼崎---帰神 22:30（行動時間 9時間）

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

- ・21日朝石田川ダムより三重岳登山口まで車で移動しようとしたが、前々日の集中豪雨によると思われる土砂が林道を遮断していた。1つ目は何とか越えられたが、その先も土砂で遮断されていた。そのためダムまで引き返し、車をダムにデポし、歩いて八王子谷出合まで行った。

これにより、当初下山ルートとして予定していた三重岳から南東尾根を下り三重岳登山口に降りるのを変更し、855mピーク近くのコルから高島トレイルを縦走し、わさ谷分岐から三重・武奈登山口に下るルートに変更した。

- ・1名が八王子谷出合近くで沢靴を忘れていたのを思い出す。車まで取りに戻る。

b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？

- ・4m滝（後の3m滝と合わせて2段の滝）の左の凹角状の岩のルンゼをトラバース（3m程度）する際、トラバース先の壁のリスにハーケンを打ち込んで支点を作り、ロープを張った。全員トラバース後、ハーケンを確認したところ抜けてしまった。もう一本のお助け紐で確保していたが、全体重がかかればハーケンは抜けていたかもしれない。

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

上記 b) については、ハーケンの効きを前後、上下及び左右を十分確認する。

ハーケンの打ち方の練習（音や跳ね返りを観察）を重ねる。また、効くリスの見分け方を習得する。湖北・石田川の沢の岩はフレーク状に割れやすい岩質のため、十分に注意が必要である。

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

- ・今回湖北・石田川・八王子谷～一の谷（左俣）は、奥美濃・板取川・川浦（かおれ）谷が雨天で中止となり、その代替えの沢である。
- ・石田川ダム周辺の道路状況は、落石や崩壊が多いので梅雨時期や台風通過後の場合

現地（石田川ダム管理事務所等）に確認すべきである。

- ・石田川ダムはトイレ、芝生広場、東屋（若干傾いていて立ち入り禁止となっている）、テーブルがありキャンプに適している。水は蛇口があるが飲料には適さないと表示がある。
- ・前回の間谷沢登りの時の三重岳周辺は、毛虫が異常発生していたが、今回は成長して蛾になっていたようだ。
- ・高島トレイルやわさ谷分岐からの下山道は整備されていてわかりやすい。
- ・ネット上にある遡行図は奥の二俣から左俣へ行ったように記載されているが、実際の左俣は遡行図とは異なっており、右俣であることが判明した。遡行図にはない滝を楽しめた。

報告者氏名 三谷

2014年7月24日





